

一貫教育校の広場

新たな試みに挑戦する横浜初等部

●横浜初等部 主事

片山壮吾 かたやま そうご

2013年にもっとも新しい一貫教育校として開校した横浜初等部は、自我作古の精神を大切に、今の生徒に必要なことは何かを考え、新しい試みにも積極的に取り組んできました。その一例として、当初5年から始める予定であった教科担任制を3年から前倒ししました。このことで、教員の専門性が生かされ、教科の内容で大切な要素が多くなる中学年に、手厚く指導することができています。

続いて特色ある教科について紹介します。「言葉」の授業は言語技術の習得を目的の一つとしています。物語の構造理解、人物相関図の作成、パラグラフライティング、戯曲の分析などを全学年週1時間学んでいます。その時間ごとに何の力をつけるのかという目的がはっきりとして、生徒だけでなく教員も事前にしっかりとした準備が求められます。

5年生は、本校の柱の一つ「体験教育」を深めるべく、遠足で奥能登を訪れ、民泊を体験します。普段都会の生活に慣れた生徒が、山間の民家に宿泊し、その地域で大切にされてきた文化を学ぶのです。竹を切るところから始めて流し

そうめんをするなど、各家庭によって工夫を凝らした内容で、その貴重な体験について生徒が戻ってきて嬉しそうに話してくれました。2年目となった今年は、新たに總持寺で宿泊をし、座禅を含む修行体験を取り入れました。

また、今年度から英国交換留学プログラムが始まりました。男子8名が福澤先生訪英時に見学されたキングスカレ

ッジスクールの生徒と、女子8名がウィンブルドンハイスクールウィンブルドンハイスクールの生徒とパートナーとなり、交換留学をします。初等部生はこの4月に英国のパートナーの自宅で9泊10日を過ごし、異文化理解を深めました。学校ではパートナーと一緒に授業を受け、スコーン作りやクリケットなど英国の伝統文化にも触れたり、ロンドンのウエストミンスター寺院を訪れたりするなど貴重な体験をしてきました(写真)。



10月にはパートナー16名が来日し、ホームステイをしながら初等部の授業参加、校外への遠足、日本文化体験活動を通して、初等部生との親交を深めます。さらにこの夏休みには、オーストラリアでホームステイしながら語学研修を受けるプログラム、房総の海で隊列を組み足の届かないところを泳ぐことなどを行う中で、海に親しんでもらうことを目的とした海の学校、気圧が低い3000mを超える場所を自分と向き合いながら一歩ずつ歩を進めて頂上を目指す富士山登山合宿といった活動が初めて行われました。

2学期、新たな試みがスタートします。生徒と教員が共に目指すヴィジョンを策定し、展開していくことになりました。ヴィジョンには、横浜初等部に集う人たちが皆で大切に、共に目指すこととして、「探究心」など12個の言葉が書かれています。今後、これらの一つ一つを自分なりに実践できるよう、生徒、教員、学年、クラスの垣根を越えて話し合ったり、理解を深めたりしていきます。

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)